

資料9 屋内運動場設備関連資料（参考仕様）

1 照明設備（舞台照明）

(1) 照明等

- ア ボーダーライト、サスペンションライト、アッパーホリゾンライト、ギャラリースポットライト（2台設置、ウォールコンセントは、上手下手共に用意）を設置すること。
- イ フットライト用コンセントを設置する。
- ウ ブドウ棚（すのこ）下に、地明かり用の一般照明を2列設置する。スイッチは上手、下手とも設置すること（3路スイッチ）。

(2) 調光卓

- ア 卓上のポータブル式とし、放送機器室内に設置する。その際、舞台の様子を確認できる位置に設置すること。
- イ アリーナの上手または下手に接続プレートを設置し、客席側からも操作可能な計画とすること。
- ウ イの接続プレート付近にコンセントを設置する。

(3) コンセント・HDMI

- ア ステージ上のコンセントについては、タブレットやPCによる発表、映像投影、音響が行える設えとすること。
- イ ステージ中央前方にステージ中央前方に3口コンセント（埋込み）とすること。
- ウ キャットウォークにスポットライト用と撮影用コンセントを2箇所設けること。

2 舞台設備（舞台幕等）

- (1) 緞帳1箇所、一文字幕1箇所、袖幕1組、中割幕1箇所、見切幕2組、カスミ幕2箇所、バック幕1箇所、ライトボタン（(1)ア参照）、吊物ボタン2本、スクリーンを設置すること。
- (2) 緞帳、スクリーン等については電動昇降式とし、美術ボタンは、手動昇降式とすること。それ以外については、照明ボタンを含み固定式とすること。
- (3) スクリーンの大きさは、ワイド180インチ以上を原則とし、舞台前方側設置とすること。スクリーンへの投影については、ポータブルのプロジェクターを想定している。ステージやアリーナからも投影可能な設えとし、移動式ワゴン（放送卓）との連動を考慮すること。
- (4) 緞帳等の昇降スイッチは、舞台上手側に設置すること。
- (5) 簡易な開演ブザーを設置すること。押しボタンは放送機器室内に設置すること。

3 音響設備

(1) 整備内容

- ア メインスピーカー（防球タイプ）、サブスピーカー（防球タイプ）、舞台用はね返しスピーカー、放送室モニタースピーカー（簡易なタイプ）を設置すること。
- イ ワイヤレスマイクの運用数は、4波とする。
- ウ ワイヤレスマイクのバックアップ用として、舞台上手及び下手、アリーナ舞台側上手及び下手に有線マイク用の端子を設置すること。

- ウ 放送機器室に CD プレイヤー(USB メモリ対応含む)を設置すること。
- エ マイク、スピーカー、プレイヤー等の機器を収納した移動式ワゴンを放送機器室に設置すること。
ワゴンには、チューナー等の増設スペースを見込むこと。
- オ 有線マイクの端子は、開放したままスイッチを入れるとノイズの原因となるため、ゴムの端子蓋を用意するなどノイズ対策を講じること。

(2) その他の納品設備

- ア ワイヤレスマイク（充電器含む）：4 本以上
- イ 有線マイク：1 本
- ウ 有線マイク用ケーブル：10 m・1 本
- エ マイクスタンド床上用，卓上用：各 1 台
- オ マイクロホン：1 基

4 時計設備

- (1) 全ての時間に数字が記載してあるものとする。
- (2) アリーナに設置するものはポリカーボネート仕様とし，ガードは不要とする。
- (3) 高所に取付ける電気時計は，電波時計（交流式）とする。